

環境



子どもたちの
エコ活動だよ!

特集

地球と自然がぼくらの先生!

エコスクールへ ようこそ

岡山県 自然保護センターへ 来てみられえ~

次の世代へ続く
NEXT STEP
株式会社中央運輸

IPCC第五次報告書 連載コラム 地球温暖化を考えよう!

エコロジーに工夫して、豊かに暮らす
実践! エコライフ



公益財団法人 岡山県環境保全事業団
www.kankyo.or.jp

夏を涼しく過ごすコツは、家の外側と家の周囲の温度をあげないこと。簾(すだれ)、葎簀(よしず)、打ち水は、実はとても効果的な方法です。

窓の外に吊るす簾は、日よけになり、室温があがることを防ぎます。軒に立てかけて使う葎簀は、日よけの効果に加えて、日かげになった空間に風が通って涼を運びます。庭や道路に水をまく打ち水は、気化熱を利用して気温を下げる方法。葎簀に打ち水をする気温が2℃下がるといわれています。

昔の人の知恵をかりて、夏をエコに涼しく過ごしましょう。



実践! エコライフ

すだれ、よしず、打ち水
昔ながらの工夫で涼をとろう

蒸し暑い日本の夏。そんな夏でも快適に過ごすために、昔から日本人はさまざまな工夫をしていました。

①打ち水
日中はかえって蒸し暑くなることがあるので、午前中や夕暮れ時がおすす。飲用水ではなく、お風呂や洗濯ののり水、雨水を使ってさらにエコに。

②葎簀(よしず)
葎の茎でできています。家の軒先に立てかけて使うため、立て簾とも呼ばれます。打ち水をするのでさらに涼しく。

③簾(すだれ)
細く切った竹を編んだもの。日よけ、目隠しに使用。太陽光を通さず風を通すのでカーテンよりも涼しい。

展示 アスエコ水族館 ~西川のお魚大集合~

岡山市内を流れる西川は豊かな生態系の宝庫。西川に生息する約30種類のお魚を集め、毎年大好評のアスエコ水族館を今年も開催します。昨年は、テナガエビの産卵を見ることができました。身近な西川のお魚から、自然を愛する心が生まれればと思います。期間中は、西川に入って魚の調査をする「西川お魚調査隊」や西川の生き物のお話を聞く「アスエコカフェ」も計画。この機会に、ぜひアスエコに来て、感じてください。

今年もやります!
アスエコ水族館
~西川のお魚大集合~
7月1日(土)~8月30日(土)

お魚たちは元気いっぱい!

テナガエビの産卵も!

**メルマガ会員
になりませんか?**

すぐに役立つエコ知識や岡山のエコなイベント情報が盛りだくさん! 今すぐ登録して、得しちゃおう★

QRコードの読み込み、または下記アドレスに空メールを送信してね!
a+1258u@dmq.jp

毎月、岡山のエコで旬な情報をお届け!

**アスエコ エコ
かわらばん**

岡山の街中から身近なエコをお届け!

vol.9 4/30発行

vol.10 5/31発行

「アスエコかわらばん」は、岡山県内のエコな活動や暮らしの情報を発信する、環境啓発フリーペーパーです。

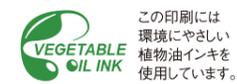
みんなではじめるエコマガジン 2014年夏号

環境

発行日 平成26年6月13日
発行所 公益財団法人岡山県環境保全事業団 環境学習センター「アスエコ」
〒700-0907 岡山市北区下石井2丁目2-10
開館時間 午前10時~午後6時 (午後1-2時はお休み)
休館日 日曜・祝日・年末年始

TEL 086-224-7272 FAX 086-224-7273

「環境」へのご意見・ご感想・定期配送のお申し込みは
アスエコ まで!



岡山県立 水島工業高等学校



(上)2014年3月に自動車でけん引して飛行に成功。今後はモーターによる自力飛行の成功を目指します。
(下)全科横断のプロジェクトチーム。5年間で16人の生徒が参加しています。



未来の技術者のチャレンジ CO₂排出ゼロ、新時代飛行機の開発

世界初の飛行機製作に挑戦するのは水島工業高等学校。専門5科の頭文字から「ME_シIA_シプロジェクト」と呼ばれる全科横断研究の一環で、飛行機は「エアロME_シIA」と名付けられました。太陽光発電・リチウムイオン電池・水素型燃料電池という3つの環境にやさしい次世代のエネルギーを組み合わせて、飛行中のCO₂排出はゼロ。炭素繊維からなる機体は超軽量。構造設計、デザイン、電装システム開発、製作と各々が協力して夢の実現を目指しています。2014年は、ジャンプ飛行の成功を目標に、環境にやさしい新技術を扱う未来の技術者は着々と成長しています。

※ジャンプ飛行 滑走路上で1〜2メートル浮上して、数十メートル飛行すること。

岡山県立 高松農業高等学校

スイゲンゼニタナゴの保護と繁殖 地域と取り組む環境活動

高松農業高等学校の生徒が立ち上げた「高松環境を考える会」は、絶滅危惧種の淡水魚スイゲンゼニタナゴの保護活動に取り組んでいます。生息環境の保全や校内ピオトープでの繁殖活動だけでなく、近隣小学校との環境交流学習や各種イベントでのパネル展示などのPR活動も。身近な環境を見つめ直すとともに、交流を通してコミュニケーションのスキルも向上しています。



地域イベントで保護活動の展示発表。初めて見るスイゲンゼニタナゴの様子に子どもたちも興味津々です。

岡山県立 津山工業高等学校

廃油をみつめて石けん製造 廃油石けんで目指す循環型社会

津山工業高等学校の工業化学科では、廃棄される食用油を原料として、石けんをつくっています。授業では製造プラントを実際に稼働させ、高品質な石けんの製造を目指しています。今では年間1トンの生産が可能になり、環境学習の参加者に配布したり、公民館に置いたりしています。消費と廃棄を見直す活動は、地球にやさしいものづくりができる人材を育てています。



小学校や公民館で行う環境講座は年間20回ほど。参加者に廃油石けんを配布します。

地球と自然がぼくらの先生! エコスクール へようこそ

自然との出会いを通して、環境にやさしい技術へのチャレンジを通して、子どもたちが環境について学び、考え、行動する一地域や専門家と協力しながら広がっている、岡山県下のユニークな環境教育を紹介します。

激減するサンショウウオの生息域 繁殖研究を通じて現代の課題に立ち向かう

私立女子高等学校としては全国初となる文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール(S_シH)」指定校になった清心女子高等学校。科学研究の成果を各学会で発表し、さまざまな賞を受賞。研究課題「サンショウウオの飼育下の繁殖法の確立を目指して」では、高校生科学技術チャレンジ(J_シSEC)で審査員奨励賞、



水槽内で産みつけられた卵を縄張りをつくる雄のオオイタサンショウウオ。

ノートルダム清心学園
清心中学校・
清心女子高等学校

バイオ甲子園で、創立30周年記念奨励賞を受賞しました。1989年からカスミサンショウウオの分布調査、繁殖生態の研究に取り組んできた同校。その経験を生かして、環境省レッドデータブックで「絶滅危惧Ⅱ類(V_シU)」に指定されているオオイタサンショウウオの増殖に役立てる手段として、繁殖方法の開発に着手、



遺伝子の異常によりメラニンが合成されないアルビノの研究も行います。(写真はヌマガエル)



「集まれ理系女子!女子生徒による科学研究発表交流会」では研究成果をポスター発表。

見事飼育下での繁殖に成功しました。「人間の影響を受けて生息域を激減させているサンショウウオの研究を通して、生徒は現代社会の課題を追求していきます」と秋山繁治先生。課題研究で科学研究への適性が引き出された生徒たちはイキイキと世界に向けて成果を発信しています。

岡山市立 小串小学校

岡山市の東南端、児島湾と瀬戸内海を臨む半島部に位置。のりすき体験、つぼ網体験など「海大好きプロジェクト」を進め、「海のゆりかご」といわれるアマモ再生にも力を入れています。海や海に住む生きもの、海に関わる人びとを通して環境を学んでいます。

西粟倉村立 西粟倉小学校

岡山県の東北端、標高300メートル以上の山地に位置。「ふるさと元気学習」に力を入れ、「森の元気教室」「ふるさと元気ウォーキング」など自然や人から学び、子どもたちが自分の手で西粟倉を元気にする活動に取り組んでいます。



①小串小学校が行うアマモ再生活動も合同で。瓶にアマモの種を植え付けます。②育てたアマモの苗は地元の方によって、海底に植え付けてもらいました。③交流学習では環境学習はもちろん、レクリエーションを通して子どもたちは親交を深めます。

水辺を守り、水辺で学ぶ。

岡山市立 小串小学校

西粟倉村立 西粟倉小学校

自然の尊さや地域への誇りを感じ合う「山の子」と「海の子」の交流学習

2年前から「水」をテーマにした交流学習を行っている西粟倉小学校と小串小学校。吉井川の上流と下流、森と海で生活する子どもたちです。当初、西粟倉小学校から「森の壁新聞」、小串小学校から「海の魚図鑑」などを送り合っていた交流は、双方を行き来する交流学習に発展していきました。

子どもたちは楽しみながら「水は森からの贈り物」「川をキレイにすることが海をキレイにすること」とお互いの地域のことなかりを学び、自分の地域の自然の美しさにも気づきを深めます。海の子と山の子は、継続的に交流し学びを深め合うことで持続可能な社会作りの担い手として成長しています。

2013年6月には、西粟倉で若杉原生林を一緒に歩き、沢の透き通った水に触れて雨水をきれいにした森のはたらきを肌で感じました。一方10月には小串で海釣りを楽しみ、海の恵みである魚をともにいただきます。

岡山市立 高島小学校



天然のアユモドキ。アユモドキが産卵しやすい環境を整えて、産卵・孵化を導きます。



アユモドキの生態に詳しいゲストティーチャーから説明を受け、アユモドキの知識を深めます。

稀少な淡水魚アユモドキの繁殖に成功
地域の自然を学び、自ら考え、行動する

江戸時代から人々の生活を支える祇園用水。高島小学校の学区を流れる祇園用水には、国の天然記念物である淡

水魚のアユモドキが生息しています。岡山県内2カ所と京都1カ所にしか生息しない稀少なアユモドキ。5年生の総合学習では、アユモドキを中心とした環境学習を行っています。

授業では、アユモドキや環境について地域の人の取り組みや思いを知り、専門家の指導を受けながら成功率50%といわれるアユモドキの人工繁殖に取り組みます。アユモドキの卵がふ化する様子は、命の素晴らしさをどんな言葉よりも雄弁に物語ってくれます。子どもたちは、ふ化したアユモドキの世話を通して、生きものや地域の自然の愛着をさらに深めます。

このような学習から自然や地域、生きもの大切さを学んだ子どもたちは、ゴミ拾い下校や家庭のリサイクル、ポスター発表による他学年へのアユモドキ保護のPRなど、思い思いに工夫して、環境のためにできることを実践しています。

岡山市立 竹枝小学校



水辺の築校では地域の川で魚やサワガニをとったり、自然の中で自由に遊べます。

ここにしかない「ふるさと」が学び舎
地域を愛し、地球を思うところを育てる

環境学習や体験学習を地域と連携して行っている竹枝小学校。はじまりは地域の過疎化、少子高齢化が進むなか「子どもたちにふるさとの魅力を伝えたい」という思いから竹枝小学校と地域住民が「竹枝を思う会」を結成したことです。「自然環境・環境学習で一番

をめざそう」を合言葉に「たけな水辺の築校」「田んぼの築校」「旭川かいぼり調査」など学校と地域が協力してさまざまな活動を行っています。子どもたちは、米や野菜を地域の人たちとともに栽培収穫し、食べ物を大切にする姿勢や感謝のこころを身につけています。また、ヘイケボタルのエサとなる巻貝の生育域やアカガエルの産卵場所として、冬の水田に水をひく「冬水田んぼ」の取り組みからは、自然環境を守る気持ちや生きものを尊重することを学んでいます。

竹枝地区が岡山市による「岡山身近な生きもの」に認定されたことを受けて、竹枝小学校は「情報発信拠点」や「生きもの」の里センター」としての役割も担うことになりました。岡山理科大学など学外の専門家との交流も広がり、子どもたちは環境学習から社会や世界ともつながり、地球の自然にも思いをはせるようになっていきます。

みんなでチャレンジ! 緑のカーテン 栽培日記

ゴーヤやアサガオなどのつる性の植物を育ててつくる緑のカーテン。岡山県では毎年たくさんの学校が緑のカーテンづくりに取り組んでいます。2013年にゴーヤを種から育てた下竹荘小学校の栽培の様子を紹介します。

**吉備中央町立
下竹荘小学校**

6月3日
ほとんどの種から芽が出て、本葉が大きくなりました。

6月8日
脱脂綿からポットにうつして苗を育てます。

6月27日
プランターに植え替えて、先端の芽を摘む摘心を行います。

6月28日
ゴーヤのトンネルをつくるためのネットをはりました。伸びていく蔦はネットに誘導します。

5月15日
START!!
ゴーヤの種をカットして一晩水に浸し、水分を含ませます。その種を脱脂綿のうえに置いて、芽と根がでるのを待ちます。

9月5日
FINISH!!
茎で熟れたゴーヤから種をとり、ゴーヤのトンネルを撤去しました。

オレンジ色のゴーヤの中に真っ赤な種ができていました。

来年はこの種から育てよう!!

緑のカーテンコンテスト2014

応募方法

- つる性植物を育てて作った緑のカーテンを写真に撮ろう! (8・9月の一番葉っぱが繁っている時の写真を撮ろう!)
- 応募用紙に必要事項を記入し、写真を送ろう! (5枚以内) (応募用紙を右記ホームページ上に用意してるよ!)
- 右記申し込み先に直接持参するか、郵送で応募しよう!

10/20(月) 必着!
優秀な作品には素敵な賞品を差し上げます。

環境学習センター「アスエコ」
〒700-0907 岡山市北区下石井2丁目2-10
TEL.086-224-7272 FAX.086-224-7273
ホームページ <http://www.kankyo.or.jp>

応募メチ

お問い合わせ
お申し込み先

今年もみんなの応募待ってるよ!

今回の表紙は、「緑のカーテンコンテスト2013 小学校の部」で最優秀賞を受賞した、「倉敷市立豊洲小学校」のグリーンカーテンです。

エコ博士のまとめ

岡山県下の学校や子どもエコクラブで、子どもたちはさまざまな環境問題について知識を深め、自然を体験して、自分たちにできることを実践しているようじゃな。学校はもちろん、地域や専門家、企業との関わりの中で身につけるエコ感覚は、子どもたちを人間としても大きく成長させてくれるから、こういった活動はもっと広がってほしいものじゃ。そして子どもたちが大人になった時、エコが特別なものではなく、ごく日常的なものになっているよう、われわれ大人も少しずつ前進していく必要があるかもしれない。



地域・家庭・企業がつくる
学校の外のエコ教室

子ども エコクラブ

地域の雄大な自然にふれ
清流も仲間も大切にすることを育む

吉野川清流隊

吉野川清流隊が発足したのは平成6年。美作青年会議所創立20周年記念事業として始まった活動は、今年で20年を迎えます。吉野川・梶並川・滝川を美しい清流のまま残そうという取り組みは、子どもたちの自然を愛するところを育むだけでなく、キャンプなどの集団生活を通して、仲間を思いやることも育てています。



2013年のキャンプは兵庫県の家島で。海で遊んだ後はみんなで清掃活動をしました。

広がり自由自在
家族でつくる子どもエコクラブ

わくわくエコクラブ

合言葉は「もったいない!」わくわくエコクラブは、家族単位の子どもエコクラブ。子どもの興味にそった活動は、リサイクルなど暮らしのエコから、自然教室への参加までさまざまに広がっています。活動発表を通して、自分の学んだことや注意してほしいことを伝えたい、という気持ちが自然に芽生えています。



おじいちゃんの桃畑での手伝いも、子どもにとっては楽しく学ぶ環境学習のひとつです。

1年1テーマでじっくり学ぶ
出会いと学びがエコ意識を育てる



2013年は「エネルギー」というテーマで、発電所に見学に行き、内部も案内してもらいました。2014年のテーマは「太陽と自然」です。

イオンチアーズクラブ

イオンチアーズクラブはイオングループが主催する子どもエコクラブで、岡山県内のすべてのイオンにあります。全国一律のテーマにそって、各店舗が地域密着型の活動を行っています。子どもたちはソーラーカーづくりやレジ袋調査などを通して、こまめに電気を消したり、買い物にマイバッグを持って行くようになったり、自然にエコ意識を身につけていきます。

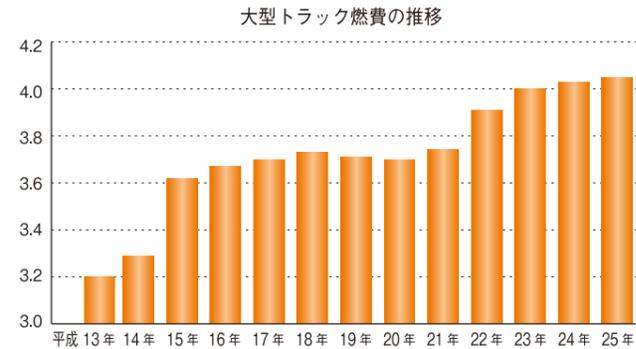
積み重ねを大きな成果に

株式会社中央運輸
代表取締役社長 景山高志 さん



独自の取り組みで燃費改善

「うちの社員すごいんですよ」にこやかにそう語るのは、株式会社中央運輸、代表取締役社長の景山高志さん。大型トラックでの輸送を主業務とする同社は、アースキーパーメンバーシップに登録し、全国的なエコドライブコンテストでも優秀な成績をおさめています。特にエコドライブでは、アイドリングストップやゆるやか発進を徹底。トラックの燃費をランキング形式で発表して競い合うユニークな取り組みを行って、0.1km/lの改善も困難な大型トラックの燃費を、平成13年から平成25年までの13年



13年間で合計0.8km/l改善

間で合計0.8km/lも改善しました。

燃費の見える化で意識向上

平成20年のカーボンオフセット付エコドライブの導入からスタートしたエコの取り組み。日本野鳥の会主催の「シマフクロウの森を育てようプロジェクト」に協賛し、グリーン経営認証を取得するなど積極的に活動しています。このような取り組みの中で、社員の皆さんの意識も少しずつ変わっていきました。「当社では燃費はドライバー自身が記録します。毎月燃費を計上することです。エコドライブの効果が実感されているようです。またドライバー同士の競争もやる気に結びついています。」と景山社長。

「たええ段ボール1個の破損でも、それによって予定外のトラックが動くところまで考えると環境への負荷は大きい。ミスやムダをしない。それが会社としてできる一番のエコではないですか。」

エコドライブもミスやムダの削減も一人ひとりの心がけ次第。「少しずつでも毎日積み重ねる



車両はハイブリッド車への転換を進めている。車体には親会社 中央化学(株)のキャラクター「トレーマン」をペイント。道を行く子どもから関心を持たれることが、安全運転への意識を高め、エコドライブの促進にもつながっている。

ことが、全体的・長期的には大きな成果になります。これからも大きな視点でのエコ活動を続けていきたいですね。」

お問い合わせ
株式会社中央運輸
Tel 0868-72-5625 (代) <http://www.4cn.ne.jp/~chuoh/>

地球温暖化を考えよう!

連載コラム

地球温暖化についての世界的な研究機関である IPCC から、第5次報告書が発表されました。世界の科学者の研究や観測値をもとに示された温暖化の科学的根拠。温暖化の原因は? 未来の地球はどうなる? 最新の科学が明らかにする地球の未来をみてみましょう。

IPCCとは? 気候変動に関する政府間パネル (Intergovernmental Panel on Climate Change) の略称。1988年に世界気象機関 (WMO) と国連環境計画 (UNEP) により設立された組織で、数年ごとに出される報告書は各国の政策に大きく影響する。

第1回 地球温暖化の現状と予測

IPCC 報告結果

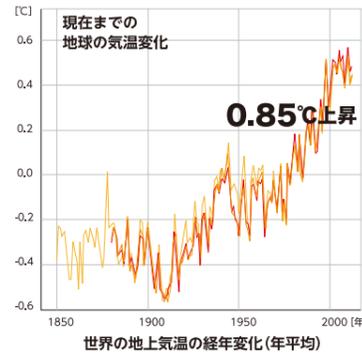
過去100年の気温・海面・CO₂濃度の上昇から地球温暖化には疑う余地がない

1951年以降の気温上昇は95%以上の確率で人間の生活により引き起こされた

現状

地上気温は過去130年で0.85℃上昇

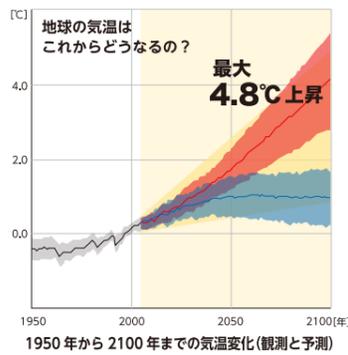
世界平均地上気温は1880年から2012年までに0.85℃上昇し、最近過去30年間の気温がもっとも高温であると発表されました。



予測 (気温上昇)

地上気温は最大で4.8℃の上昇予測

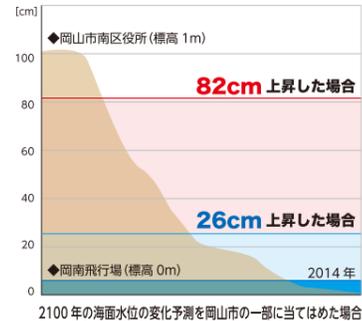
1950年からの観測をもとにした予測では、2100年までの世界平均地上気温は、0.3℃から最大で4.8℃まで上昇すると発表されました。



予測 (海面上昇)

海面水位は最大で82cmの上昇予測

世界平均海面水位の観測と気温予測から、2100年の世界平均海面水位は、26cmから最大で82cmまで上昇すると発表されました。



知っておきたい新事実

気温上昇はCO₂累積排出量で決まる!

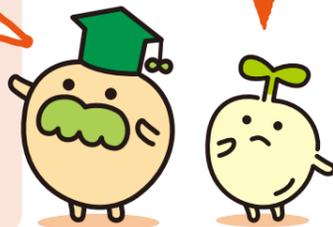
気温上昇について、世界の国々は今世紀末に「2℃未満」という合意をしていますが、現状のままCO₂を排出していると…
あと30年でリミットを迎えてしまいます!!

未来を選ぶのは今じゃ!

IPCCの未来予測は数パターンで示されている。何もせずのままCO₂を排出し続ければ2100年には「真っ赤な地球」になってしまうのじゃ。未来をどうするか今ならまだ選べるのじゃ。

次号「気候変動の影響」

気温や海面が上昇するとどうなるか、具体的に見ていきます。



2100年まで最小で排出、気温上昇2℃以内

今世紀末における地上気温の変化

2100年まで最大で排出、気温上昇2.6℃~4.8℃

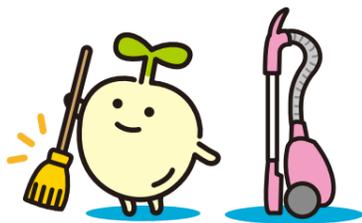
RCP2.6 RCP8.5

【データ出展：全国地球温暖化防止活動推進センター IPCC 第5次評価報告書 特設ページ】

●冷蔵庫の設定温度を見直す。



●掃除機のかわりにほうきを使う。



夏にすぐできる！ 省エネ アイデア

日中の電気使用量が一年で最大になる夏。
節電とエコなくらして
節電・節約に取り組みましょう。

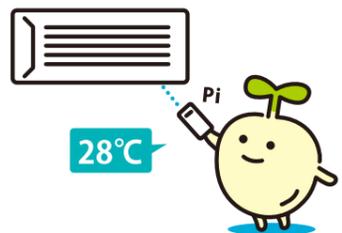
●洗濯機の容量に合わせてできるだけまとめ洗いのする。



●エアコンのフィルターを月に1~2回掃除する。



●冷房温度は28℃ぐらいに設定する。



倉敷市環境学習センター イベント案内



水島を海から見てみよう！
エコクルーズ体験 7/23 水
10:00~15:00



船に乗って、水島の世界に誇れる「いいね!」を探しに行こう!

対象:一般・親子(小学生以上)/定員:30名

日帰りバスツアー
リポートレッキング 8/2 土
9:00~17:00



蒜山の山乗渓谷で、非日常の体験をしませんか!神秘的な大自然のパワーを感じ、さあ!出発!!

対象:一般・親子(小学4年~6年)/定員:30名

大学生が教える
わくわく実験教室 8/27 水
10:30~12:00



岡山理科大学のみなさんと、私たちの住む【地球】について、ふしぎな実験をしながら、楽しく学んでみよう!

対象:一般・親子(小学生以上)/定員:20名

世界にひとつ!
**Myフラワーフレーム
押し花アート教室** 7/25 金
10:30~12:00



世界にひとつだけの押し花を作ろう!押し花作りのプロが教えてくれるよ!

対象:一般・親子(小学生以上)/定員:20名

知らないものが大変身!?
レトロタイルで遊ぼう! 8/20 水
10:30~12:00



昭和30~40年代のカラフルでおもしろ・不思議タイルを使って、フォトフレームやヘアピン、手作りオセロなど色々な小物を作ってみよう☆

対象:一般・親子(小学生以上)/定員:20名

木の実や枝が大へんしん!
木工クラフト教室 7/30 水
10:30~12:30



間伐材や木の実を使って、素敵な作品を作ってみよう!

対象:一般・親子(小学生以上)/定員:20名

知っているようで知らない瀬戸の海
瀬戸内海の「ヒ・ミ・ツ」をさぐる 8/22 金
10:30~12:00



瀬戸内海に沈む「あるもの」を使って、君だけのオブジェを作ろう!

対象:一般・親子(小学生以上)/定員:20名

お申込・お問合せ

倉敷市環境学習センター
☎086-440-5607

倉敷市水島東千鳥町1番50号
水島愛あいサロン(環境交流スクエア)西棟4階



【協力】アスエコ 公益財団法人 岡山県環境保全事業団 環境学習センター「アスエコ」



6月~9月には、
こんな生きものが見られるよ!
**自然保護
センターへ
来てみられえ~**

満喫自然体験 イベントレポート

早朝探鳥~鳥たちのコーラス~ 5/8(木)開催

気持ちの良い春の日差しの中、駐車場から虫の原っぱ、昆虫の森のルートで探鳥会を行いました。夏鳥である「キビタキ」「センダイムシクイ」の美しい鳴き声やその姿、また上池では、宝石のように美しい「カワセミ」の姿も観察でき、とても楽しいイベントになりました。

その他こんな鳥たちが観察できました。ウグイス、アオゲラ、カイツブリ、トラツグミ、ミサゴほか(全26種類)



岡山県自然保護センター

〒709-0524 和気郡和気町田賀 730 ☎0869-88-1190
休所日/毎週火曜日及び祝日の翌日、年末年始
開所時間/9:00~16:30 入場料/無料
ホームページ <http://opnacc.eco.coocan.jp>

★ブログをはじめました!
<http://blog.canpan.info/sizenhogo-center-01/>

初心者のための自然観察会

その時期に見られる様々な生きものを観察します。入門編なので、どなたでも気軽に参加できます。

参加費は全て無料!!
申し込み不要

時間 10:00~12:00 集合場所 センター棟

7/6 (日)	日本一小さなとんぼ。ハッチョウトンボ 国内最小の「とんぼ」を見つけるのは至難の業。目を血のようにして探してみよう! 運が良ければ産卵の様子も見られるかもしれません。	
7/13 (日)	探してみよう!夏のきのこ 色の多彩さと形の楽しさを観察するなら「夏のきのこ」にきまり! 梅雨の頃のきのこを楽しんでみませんか?	
7/27 (日)	せみ時雨の中の散策 せみ時雨の中、夏の虫たちを観察してまわりまわろう。また鳴き声、抜け殻、成虫の姿などから、プロがせみの見分け方を伝授します!	
8/24 (日)	サギソウと湿原の草花 センターが誇る湿生植物園で、湿原の代表的な花、サギソウ、ミカキグサなどについて、様々なお話をします。	
9/7 (日)	秋の花の彩り ミストランノオ、ミズアオイ、秋の七草など、季節の花を観察しながらの、のんびり散策。類似種との見分け方もお伝えします!	